（10・25日毎月２回発行　　昭和53年６月25日　第三種郵便物認可）

自治体 **あいちの仲間**

2009.9.10
No.991

発行責任者　伊藤　慎次　定価　10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

発行所　自治労連愛知県本部　名古屋市北区柳原三丁目7番8号
ＵＲＬ　http://www.jaichi.jp　　TEL〈052〉916−2251
Eメール　info@jaichi.jp　　FAX〈052〉916−2308

県本部役員学校
９月26日（土）ＰＭ1:00
～27日（日）正午
犬山レイクサイド入鹿
組合運営から共済まで学べます！みんなで参加しよう！

住民生活守る自治体の役割発揮を

半田市職

いま、深刻な不況の影響で、市民生活はますます厳しくなっています。同時に、自公政権のもとですすめられた構造改革で、住民税増税や定率減税の廃止、医療・福祉などの住民負担増が押しつけられ、税金をはじめ介護保険料など、払いたくても払えない市民が増加しています。こうした状況だからこそ、住民生活を守るべき地方自治の役割発揮が求められます。ところが、いま全国的に、住民税や保険料を滞納している住民にたいし、福祉・介護などの行政サービスを停止する自治体が増えています。そして今年4月、半田市は、行政サービスの停止措置を強化しました。

市民のくらし守るため職員は一生懸命です

福祉サービスの停止は許せない

少し前から全国16道府県31の自治体が、滞納や費用負担に応じて行政サービスを制限、あるいは検討を進めていると言われています。こうした中、半田市が今年4月から、個人・法人市民税、固定資産、都市計画税、軽自動車税、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料の滞納者を対象にした行政サービスの停止措置に加え、他市町と比べてもかなり厳しい、収入の低い市民を対象にした福祉・介護・教育関係にも広げました。

「当局は滞納者が、納税者と同様にサービスを利用できるなど不公平感があってはならないなどを理由に挙げられていますが、憲法25条で保障された基本的権利を、国と自治体が実施するのは当然だと思います」と、市職員組合の熊谷弘委員長は語り、「分納誓約もできない、本当に困っている人が必要な行政サービスを受けられないとしたら問題」と批判します。

高齢者の予防接種など28を追加

半田市の市税の税収率は１９９８年度の98・４％をピークに減少に転じ、05年度には97・56％に下がりました。こうした中、市は昨年４月に「市税等収納向上対策本部」を設置し、徴収強化に乗り出しました。これまで、滞納者に対し、預金、不動産、軽自動車、売掛金の差し押さえのほか、経営資金などの融資申込みや市営住宅入居申請を受理しないなど28事業に制限を設けていました。それを今年４月からは、滞納の抑止と納税折衝機会の拡大、納税意識の高揚を目的に、あらたに、高齢者のインフルエンザの予防接種受診制限や、65才以上の低所得高齢者世帯への火災警報器・自動消火器の給付制限、障害者の路線バス運賃やタクシー代助成の停止、私立高等学校授業料補助の打ち切りなど28事業を加えました。

職員は、市民生活守るため一生懸命

「市当局は、身体的、経済的弱者の場合は分納誓約の提出や、確実な納付が見込まれるなら配慮すると説明しますが、福祉・介護・教育分野など社会的弱者ほどサービス提供を必要としているのに…職員は市民の生活守る仕事へ一生懸命なんです」と熊谷委員長。

収入の少ない世帯はますます福祉サービスが利用できなくなり、人間らしい生活から遠ざけられ、命と健康・安心のくらしができなくなります。利用制限の対象となる事業は、とりわけ収入の少ない方々にとっては、毎日の生活を支える命綱ともいえる生活支援、福祉サービスの制度です。

熊谷委員長は「勝ち組・負け組という、格差社会がますます広がる中だからこそ、行政サービスの拡充が求められているのではないでしょうか」と語ります。

組合は今月29日、定期大会を開催し、市民のくらしと権利を守る運動方針を決めます。

マイナス人勧・現業賃金削減はね返そう
10・15自治労連現業全国統一行動！

地域と憲法を守る共同を

自治労連第31回定期大会

自治労連第31回定期大会が、９月６～７日東京都江東区で開催されました。大黒作治委員長は、自公政権を退場させた総選挙をうけて、「新政権に対して憲法を守り、働くルールの確立と生活を守る切実な要求実現を迫る国民的運動を今こそ広げよう」と訴えました。運動方針案として、憲法を学び語る大運動や、自治体再生めざす「対話と提言」運動、「見直そう問い直そう、仕事と住民の安全・安心」運動、すべての非正規雇用・公務公共関係労働者の賃金・労働条件改善をめざすたたかいなどが提起されました。

討論では、中川悟代議員（名古屋市職労）が「中村区役所では、非正規切りされた労働者を１人も路頭に迷わせないと職員が奮闘し、市民の支持を得て人員増を実現した。また、総選挙の結果について、全労連の20年のたたかいにふれながら、たたかえば変えられる情勢ができた」と発言。柳進代議員（県本部）からは「非正規職員５０００人の対話運動を通じ、自らの労働条件への関心を高め組合加入につながった。田原保育園給食の自園調理を求めた判決では、名古屋高裁が保育給食の外部搬入は、最低基準違反と明確にした。憲法・地方自治を守る運動にがんばる」と発言。また、近藤夏樹代議員（名水労）が、公企評を代表して発言しました。

役員に愛知から、中川悟書記次長（名古屋市職労）・鈴木常浩中央執行委員（県本部）・大黒作治特別執行委員（名古屋市職労）が選出されました。

毎日の保育を豊かにしたい

県本部保育所部会

９月５日、県本部保育所部会の「２００９年秋　元気のでる保育運動学習会」が開かれ、13市町68人が参加しました。

全国保育団体連絡会副会長の樋口和恵さんを講師に「保育をめぐる情勢と公立保育園の役割」を講演。国政が転換し、子どもの問題が大きな争点になっているいま、「あなたが保育士になったのはなぜか」今こそ、そのことを思い返そう。「未来をつくる仕事であること」の大事さをかみしめ、誇りにして仕事と運動をすすめよう。「公立だからこそできる立場を貫くことの真価を今こそ発揮していくとき。自分にできること、労働組合だからできることをすすめていこう」と熱いメッセージが贈られました。

次に、高槻文庫連絡会代表・兵庫県子ども図書館研究会会員の岡崎義子さんが「子どもたちと絵本の世界を楽しもう」と講演。すぐれた絵本とは「喜びや楽しみ・感動をもたらすもの、絵とことばが調和している、絵に力がある」と話されました。参加者からは、「公立保育園だからこそできることを考え、保育の質を高め、勉強や経験を積み重ね、公立保育園がもっと必要とされるように働いていきたい」など感想が聞かれ、毎日の保育を豊かにしながら、子どもたちを守るために全力で署名運動をすすめようと行動提起を確認しあいました。

合併に不安・疑問続出

西尾市職

西尾市職は、榊原新市長が突然打ち出した幡豆郡３町との合併を、組合員がどう考えているのか、緊急アンケートを実施しました。幡豆郡３町との合併は本田元市長の時代から幾度となく浮上し、消えて来た問題で、組合は、組合員の意思を確認しようととりくんだものです。その結果、来年３月までの合併について77％の組合員が反対と答え、期限を定めない合併についても、約半数の組合員が反対、わからないを加えると８割以上を示しました。そして、市長がすすめようとしている来年３月までの合併準備について、８割以上が不可能と答えています。

さらに、「３町合併について、多くの市民が望んでいるとは思えない。３町合併により市政についてどんなメリット・デメリットがあるか市長は明確にすべき」「準備不足で、住民説明会にあたっても、真の姿は住民に伝わらない」「３町含めて、相当の労働時間の増加が見込まれる。職員の健康面での影響も心配で、短時間で行った場合のひずみの発生も心配」など、多くの疑問・意見、不安が届けられています。組合は引き続き、議論を進めると同時に、これらに対する市長の見解をただす予定です。

ニュース笑アップ

芝岡☆友徳行

自治労連共済の
セット共済（生命・医療）

掛金
31型
（3,940円/月）
⇨
給付
入院　10,000円/日
通院　5,000円/日

単組定期大会役員紹介

富田用水労組（８月19日）
執行委員長　後藤　篤志
副執行委員長　岸本　昌往
書記長　水野　篤史

中水労（８月20日）
執行委員長　小島　千明
副執行委員長　山田　浩司
〃　白井　淳
書記長　川本　弘直
書記次長　後藤　章仁
財政部長　近藤　桂正

蒲郡市職（８月20日）
執行委員長　来本　吉司
副執行委員長　山崎　三好
書記長　中根　徳男
書記次長　山本　和正
財政局長　小田　隆久

豊川市病労組（８月27日）
執行委員長　久保田　勉
副執行委員長　徳永　鈴子
〃　小沢　康彦
書記長　渡辺　基裕
書記次長　中村　貴博

岩倉市職（８月28日）
執行委員長　岡　茂雄
副執行委員長　中村　定秋
〃　小川　薫
書記長　佐久間喜代彦
書記次長　片桐　慎治

西幡豆広域労（９月５日）
執行委員長　村松　辰彦
副執行委員長　森　光輝
〃　廣瀬　基文
書記長　新美　勝功
書記次長　中村　博典
書記次長　高島　幸伸

清須市職労（９月８日）
執行委員長　岩田　広美
副執行委員長　藤田　佳代
〃　川島満由美
書記長　古川　真実

お詫びと訂正

８月25日号の役員紹介で、豊川市職労会計塩野谷宣和さんの宣は宜の誤りでした。訂正しお詫びします。

いきいきとした職場めざして

自治体に働く職員の安全衛生研修会

と　き　10月23日㈮午後１時30分～
ところ　金山・労働会館東館ホール
講　演
第１講義　「メンタルヘルス発生の要因と背景・復帰支援」（仮題）
桶狭間病院医師　鈴木　竜世さん
第２講義　「安全で快適な職場をつくる職場に基づいた安全衛生活動を展開するために」
滋賀医科大学準教授　峠田　和史さん
＊誰でも参加できます。問い合わせは各組合役員まで。

空中給油機はごめんだ！
第13回小牧平和県民集会
９月27日㈰　午後１時～
西本町公園
名鉄小牧線「味美駅」下車